

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回吉川市児童福祉審議会
開 催 日 時	令和4年10月6日(木) 午後6時00分から 午後8時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所第202・203会議室
出席委員(者)氏名	佐久間美穂委員(会長)、大澤里子委員、大月浩史委員、荒井一美委員 清水孝二委員、松澤良美委員、吉岡弘美委員、中村麻里委員
欠席委員(者)氏名	無し
担当課職員職氏名	こども福祉部子育て支援課長 桜井健一 こども福祉部保育幼稚園課長 島村善和 こども福祉部障がい福祉課長 程田浩司 こども福祉部保育幼稚園課 課長補佐兼保育幼稚園係長 柴田守彦 こども福祉部子育て支援課 課長補佐 飯野耕太郎 健康長寿部健康増進課 母子保健係長 稲見絹子 こども福祉部子育て支援課 子育て支援係主任 中村雄貴 こども福祉部子育て支援課 子育て支援係主事 岡庭侑香
会議次第と会議の公開 又は非公開の別	1 開 会 2 議 事 第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画に係る進捗状況について 第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて 吉川市子どもの貧困対策推進計画に係る各取組みの進捗について 3 その他 4 閉会 ※ すべて公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開にした場合)	なし
傍 聴 者 の 数	なし
会 議 資 料 の 名 称	第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 子ども・子育て支援事業計画の見直しについて 吉川市子どもの貧困対策推進計画(指標の実績) 吉川市子どもの貧困対策推進計画(各取組みの進捗)
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	荒井委員、清水委員
そ の 他 の 必 要 事 項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	

事務局	資料の確認
	<b>1. 開会</b>
	開会の宣言
佐久間会長	<b>2. 議事</b>
	<b>第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画に係る進捗状況について</b>
	<b>【関係資料】</b>
	<b>第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況（令和3年度実績）</b>
事務局	（担当課から説明）
	（質疑応答）
吉岡委員	1 頁に記載の地域型保育事業とは何か。
保育幼稚園課	市内では小規模保育事業所が該当し、0～2歳児を預かる保育所である。
吉岡委員	6 頁の利用者支援事業の3か所とはどこに設置されているのか。
子育て支援課	子育て支援課、保育幼稚園課、健康増進課に設置している。
吉岡委員	1 5 頁のその他の一時預かりについて、ファミリーサ・ポートセンターの活動は、送迎等一時預かりとは別のものもあるが、ファミリー・サポートセンターの利用全数を一時預かりとして見ているのか。
子育て支援課	計画上はそのように見ている。
吉岡委員	1 6 頁の延長保育事業について、第1期計画実績と比べ大幅に減少しているが何か理由があるのか。
大月委員	新型コロナウイルス感染症拡大以後、延長保育利用者が大幅に減少していることを現場で感じているので、数字の誤り等ではないように思う。

保育幼稚園課	実績は示したとおりであり、採用している数字の変更等ではない。
清水委員	3～5頁の教育・保育の量の見込みと提供体制について、詳細の説明をいただきたい。
保育幼稚園課	待機児童は1歳児で発生している状況である。発生理由については、保護者が特定の園を志望していること等も影響している。
清水委員	保育利用決定時期はいつか。
保育幼稚園課	次年度の保育所入所の申請期限は例年10月初旬である。翌年1月末から2月位が保育所入所の決定時期である。その後、保育施設が決まらなかった方等が再度の保育所入所の申請を行うことがあり、こちらが決定するのは3月初旬である。
清水委員	教職員の育児休業者の復帰希望調査は例年12月頃にあり、保育所入所が確定していない状態で調査票を提出している現状がある。可能な限り早期に保育所の入所決定がなされることを願っている。
清水委員	利用者支援事業の、利用者支援員は保護者にとっても心強い存在と感じる。雇用形態等について説明をいただきたい。
保育幼稚園課	保育コンシェルジュは現在1名雇用しており、保育士資格を有した会計年度任用職員である。
子育て支援課	子育てコーディネーターは現在1名雇用しており、社会福祉士資格を有した会計年度任用職員である。
荒井委員	現在の待機児童や解決策について再度説明をいただきたい。

保育幼稚園課	<p>待機児童は、今年度1歳児で9名となっている。施設整備による保育の確保策が考えられ、これまでも保育所の整備を行ってきた。その結果待機児童数の減少があり、一方で定員割れが発生している保育所も存在する。待機児童の解消と共に、定員割れに伴う保育所の運営が困難となる事態を考える必要がある。</p>
中村委員	<p>11頁の子ども守る地域ネットワーク機能強化事業について、個別会議の回数が減少しているが、虐待相談件数との関連は。</p>
子育て支援課	<p>当市の虐待件数については、令和2年度70件、令和3年度56件と減少しているが、虐待以外の、家庭や子育てに関する相談は令和2年度544件、令和3年度629件と増加している。個別ケース会議については、令和2年度に比べ、令和3年度は減少しているが、会議という形を取らずとも、必要な情報の共有や支援方針の確認は、頻回に担当者間で行っている。</p> <p><b>第2期吉川市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて</b></p> <p><b>【関係資料】</b></p> <p><b>子ども・子育て支援事業計画の見直しについて</b></p>
事務局	<p>(担当課から説明)</p> <p>(質疑応答)</p>
大月委員	<p>待機児童の解消は大切なことであるが、保育所の実情は定員割れが発生しており経営が困難であるというのが現状である。量の見込みの計画はどのように行われているのか。実績との乖離の検証は行われているのか。</p>
保育幼稚園課	<p>量を見込むに当たり、出生率を活用し、各地区の人口構成等を用いて出生の見込みを算出するほか、家庭への保育ニーズ調査も参考としている。実績との乖離の要因については、保育ニーズ調査時の保護者の</p>

	<p>就業希望と、実際の就業状況が乖離していることが挙げられる。見直しに当たっては、各実績の推移を検証し反映している。</p>
大月委員	<p>令和6年度までの第2期計画中に保育利用希望者が大きく増加するとは思えないが、保育施設整備を進めるべきか。</p>
保育幼稚園課	<p>保育の不足が発生すると見込まれるため、整備する計画となっているが、その時々保育需要を捉えて、現状に即した進め方を考えている。</p>
佐久間会長	<p>今後、吉川市市民参画条例で規定しているパブリックコメントを経て提出された意見を検討し、再度計画の見直し案について、事務局からの説明を求めることとする。</p>
	<p><b>吉川市子どもの貧困対策推進計画に係る各取組みの進捗について</b></p> <p><b>【関係資料】</b></p> <p><b>吉川市子どもの貧困対策推進計画（指標の実績）</b></p> <p><b>吉川市子どもの貧困対策推進計画（各取組みの進捗）</b></p>
事務局	<p>（担当課から説明）</p> <p>（質疑応答）</p>
清水委員	<p>指標の実績のうち、15番目の気づき、つなげる力を養う職員、教員への研修の実施回数に関して、今後の研修計画等については早期に提示いただきたい。</p>
吉岡委員	<p>各取組みの進捗のうち、43番目の交流会の周知はどのくらいの方に行ったのか。</p>
子育て支援課	<p>ひとり親家庭を対象とした内容であるため、児童扶養手当の受給者皆様に周知を行ったほか、市広報への掲載を行った。例年に比べ同等の参加者人数である。</p>

松澤委員	指標の実績のうち、3番目の学習支援教室について説明をいただきたい。
子育て支援課	対象は中学生と高校生であり、生活困窮者自立支援事業の枠組みのなかで行っている事業である。令和3年度は中学生28名、高校生10名の参加がある。
荒井委員	子どもの貧困対策について、様々あることが分かったが、成果検証の観点からは、特定の対策に絞ることも考えられる。就学前の子ども、特に外国籍の子どもに対する学習の支援等もあれば良いと考える。
子育て支援課	第2期の計画策定に当たっては、様々な意見を踏まえ検討していく。
佐久間会長	市区町村の貧困対策推進計画を見ていると、吉川市と同様に様々な対策を掲げているものが多い印象である。しかし、特色ある対策を掲げることが第2期の計画策定に向けては検討材料になるのではないか。
大月委員	<p>貧困対策に関しては、幼児教育に力を入れ、幼児期に非認知能力を高めることが重要である。このことは先進国でも実証されている。目の前の実績を確認する対処療法的なものではなく、教育に力を入れ、長期的な計画のもと、貧困対策を考えるべきではないか。次期計画作成に当たっては、幼児教育の重要性についても掲げていく必要性を感じる。</p> <p><b>3. その他</b> 大澤委員退任のあいさつ</p> <p><b>4. 閉会</b></p>

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年10月19日

署名委員 清水 孝二 自署

署名委員 荒井 一美 自署